



令和6年度に新しく着任された 先生方よりご挨拶

高等教育院

杉浦 克哉 准教授（人間文化研究科）

2024年4月に着任した杉浦克哉と申します。

専門は英語学で英語の歴史変化の調査と言語理論の構築です。趣味は走ることとサーフィンです。

着任早々、いきなり高等教育院の体制が大きく変わることになり、人事案件も担当することになりました。本学の理念や方針に共感し行動できる教員を採用することを目指します。

また、教養科目の英語の授業の教室を確保する問題も、職員の方々と協力し解決を図ります。どのような業務も教員だけでなく職員の方々の協力なしには成しえません。引き続き、職員の方々に助けていただくことになると存じますが、何卒よろしくお願いいたします。



語学講師

神原 ジュディス アン先生



はじめまして！神原ジュディスと申します。アメリカのフロリダ州出身です。いつも日本につながりを感じていました。赤ん坊の頃、父の仕事の関係で東京に住んでいました。何も覚えていませんが、両親からその事をよく聞いていました。大人になってから、日本に戻ってきました。もう27年間、日本に住んでいます。私の語学教育の目標は、学生達に、自分が学ぶ情報は、自分の生活に密接に関連していることを意識させるだけでなく、社会問題の革新的な解決策を見つけるために、背景の異なる他者と協働するのに必要な英語能力と異文化間のスキルを身に着ける手助けをすることです。

私のコースのトピックには、人権問題、健康な心と体を維持するのに役立つ興味と情熱の育成や、社会的問題に取り組み、情報を効果的に伝達するためのディスカッションとプレゼンテーションのスキルが含まれます。これらのトピックを探究することで、学生は自分が下す決定が自分自身や他人にプラスまたはマイナスの影響を与える可能性があることに気付くことができるようになると思います。言い換えれば、学生は自分が単に世界の観察者としてではなく、彼らは皆、積極的にそれを形作る力を持っていることを気が付くと思っています。NCUで教えることができ、とても嬉しいです！

なごや学研究センターについて



撮影：畠中和久

なごや学研究センターは、名古屋のまちづくりや社会教育、歴史観光、文化振興等の醸成を進めていくにあたり、名古屋の近世史を学術的に体系化し、調査研究を進めるため、令和5年4月に設立されました。

センター長メッセージ

2024年4月よりなごや学研究センター長に就任しました千田嘉博です。城郭考古学を軸に近世名古屋学の歴史的意義を研究し、その魅力を発信していきたいと願っております。

昨年度は全3回のお城をテーマに市民向け公開講座を開講しました。多くの方に来場いただき、次回の講演を望む声が数多く寄せられました。今年度も8月10日（土）に市民向け公開講座を実施予定です。

自己評価・成長実感アンケート 令和5年度の結果と今年度の実施について

教養教育およびすべての学部の特設教育の授業科目（一部を除く）において実施している「自己評価・成長実感アンケート」について、令和5年度後期の回答結果を、学務情報システムにて各科目の担当の先生方へ公開しています。

なお、今年度前期のアンケートにつきましても各科目終了時に実施します。一人でも多くの学生が自ら学修を振り返るきっかけとなり、また教員におかれましても、学生指導の参考や学生の授業満足度の向上のためのシラバス等教育改善の一助となることを期待しておりますので、是非授業の中で学生に案内いただけますと幸いです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

電子書籍の紹介



豊富なバックグラウンドを持つ多彩な実務家教員のロールモデル18例を紹介しています。実務家教員として現在活躍する方々にインタビューし、これまでの経験やキャリアチェンジのお話、実務家教員に対する思いをまとめた電子書籍を発行しました。

「進化型実務家教員」活躍へのヒントを得る貴重な情報源となる一冊となっておりますので、是非お買い求め下さい。

電子版/新書版はこちらから

<https://www.amazon.co.jp/dp/4868029983>

英語自主学习センター SALC (サルク:Self-Access Learning Center)の再開について



コロナ期間で休止していた名古屋市立大学 SALC（サルク:Self-Access Learning Center）が2024年4月より再開しました。

学生一人ひとりが自主的に英語を学ぶための場所として、滝子キャンパス2号館3階に開設されています。



開室スケジュールなど詳しい情報は、SALC入口ドアの掲示またはSALCのウェブサイトでご確認ください。